

北海道の生物多様性を次世代に。

一歩外に出ると豊かな自然が残されています。
身近な場所に貴重な動植物が生息しています。
国立・国定・道立自然公園が23箇所あり、
道南や道東・道北、それぞれの地域に
特異的な生態系が育まれています。

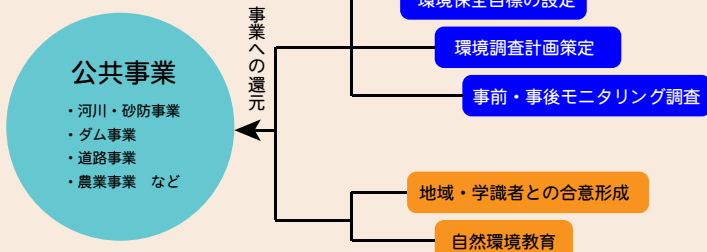
今後、これら自然資源は益々重要性が増し、
インフラと並んで大切な公共財になると考えています。

私たちはこれまでの経験を通じて、
地域それぞれで見落とされがちな自然資源
を見極め、配慮することです。
国土保全に寄与していきたいと考えています。

環境保全・配慮の進め方

- 予察
事業の特性から、「何」に影響がありそうか予察します。
- 現状分析
予察に基づいて現地調査を行い、現状の分析と課題抽出を行います。
- より良い保全措置の提案
「保全すべき多様性・基盤」と「コスト」「社会的リスク」を勘案し、工事中・
供用後を見据え、より良い選択ができるよう提案を行います。
- 既に開発を受けた場所では
目標の設定と低コストでの環境復元を提案します。

【弊社の取り組み内容】



こんなときは

- 環境に配慮する？何から手をつければ・・・
- 環境に配慮したつもりだが、その効果は・・・
- 外来種の取扱いをどうすれば・・・
- DXを利用して調査を簡便化・低コスト化できないだろうか・・・
- 今の現場で、いつ頃、何を調査すればいい・・・
- 環境に関する苦情を受けたが、どう対処すれば・・・
- 自然公園（国立・国定公園など）内の事業、どう進めれば・・・
- 貴重種に配慮するだけで大丈夫だろうか・・・
- 本当に工事の影響なのか、自然的要因なのか知りたい・・・

環境調査に関するお問い合わせは

技術部 環境調査課 担当 うえだ あねさき (植田・姉崎)

☎011-222-2598

パブリックコンサルタント株式会社

〒060-0005

札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第2道通ビル

TEL 代表 (011) 222-3338 FAX (011) 251-3176

URL <https://www.public-con.co.jp/>



調査内容

植物

地域の景観や生物相を決める基礎となるのが植物です。調査では、植物の貴重性や固有性に着目し、保全や影響の低減方法をご提案します。
また、工事後の緑化など、確認した植物を再生のための材料として利活用する方法を提案いたします。
事業計画・段階を十分に考慮したうえで、植物相（フローラ）調査やコドラート調査を行い、貴重な種や群落について保全や影響の低減方法を提案します。



調査状況
(70-7調査)



調査状況
(コドラート調査)



フクジュソウ
(重要種)



クワソウ
(重要種)

- 植物相調査
- コドラート調査
- 移植・増殖・緑化

哺乳類

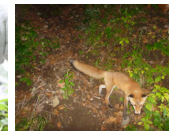
哺乳類は生態系の中～上位に位置することが多く、地域の生態系に大きな影響を与えています。
また、ロードキル等の問題も生じており、人の生活にも大きく関わっています。
事業計画・段階を十分に考慮したうえで、哺乳類相調査、生息域調査や移動経路調査、構造物利用状況調査等を実施し、生息環境の保全や影響の低減方法、ロードキル等諸問題の解決方法を提案します。



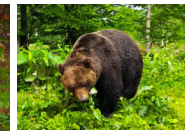
コウキウ
(痕跡法)



コウキウ類
(捕獲法)



キタツメ
(自動撮影カメラ)



ヒグマ
(自動撮影カメラ)

- 痕跡法
- 捕獲法
- 自動撮影カメラ
- コウモリ類

爬虫類・両生類 (ザリガニ類など)

北海道にはニホンザリガニやエゾサンショウウオといった希少な水生生物が生息していますが、道路事業・砂防事業などによる環境変化でこれらの生息環境は容易に失われてしまいます。
弊社では生息確認調査を通じて影響の有無を検討するとともに、保全手法として生息地の保全、移植による影響回避、産卵池の創出など事業に併せた対策を実施します。



調査状況
(現地確認法)



エゾサンショウウオ
(重要種)



ニホンザリガニ
(重要種)



ジムグリ

- 現地確認法

昆虫類

種数も膨大である昆虫類は地域の環境を表す指標となっており、多くの貴重種が存在しています。
昆虫類の保全は、生息する「場」を保全する上で重要な指標となります。
地域の特性や事業計画・段階に合わせ調査を実施し、保全対策や影響の低減方法を提案します。



スウィーピング法
(任意採集法)



設置状況
(ライトトラップ採集法)



ギンイロシジミ
(重要種)



ダイコクコガネ
(重要種)

- 任意採集法
- ライトトラップ採集法
- バイトラップ採集法

鳥類

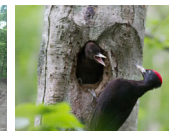
北海道には国内で確認されている鳥の7割の種が確認されており、鳥類相が多様であることが特徴です。
身近な環境で繁殖する貴重な種も少なくないことから、事業においても鳥類の生息・繁殖環境に配慮することが求められます。
弊社では鳥類相調査～希少猛禽類の繁殖モニタリング調査、希少な小鳥のテリトリーマッピングまで、地域特性や事業特性に応じた調査を行っています。



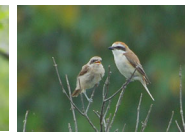
調査状況
(定点法)



調査状況
(ラインセンサ法)



クマガウ
(重要種)



アカモ
(重要種)

- 定点法
- ラインセンサ法
- 馴化、コデイショウゴ

魚介類

河川環境の変化を掴む上で重要な指標となるのが魚類です。魚類調査を実施する際には単に魚類相を把握するだけでなく、優占種や表徴種の確認、季節間移動、産卵場、越冬場などの情報取得も欠かせません。
弊社では河川の地域特性や事業計画、事業段階を十分に考慮し、魚類相調査や魚類産卵床調査、環境DNAなどを効果的に組み合わせ、幅広い調査をご提案いたします。



投網
(採集法)



電撃捕魚器
(採集法)



オヨロミ
(重要種)

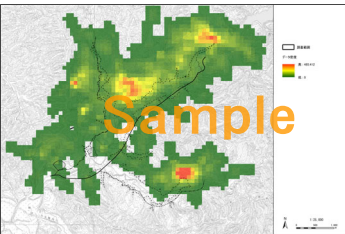


サケマス
(重要種)

- 採集法
- 水中撮影
- 産卵床調査

解析など

- GIS解析・動物の行動圏・植物分布など
- 魚道効果の評価・解析
- カメラ・通信回線併用のリアルタイムモニタリング
- 発信機を併用した動物の行動追跡
- 順応的管理のデザイン
- 地域（アイヌ）文化を考慮した自然環境調査
- 環境学習や観察会の開催
- 委員会運営 / 河川整備計画流域懇談会運営
- 環境DNAを利用したモニタリング
- UAVを応用した各種調査



GIS解析 (猛禽類利用域)



UAV (ドローン)

- GIS解析
- 河川形態調査
- UAVの応用
- 遠隔VTR映像技術
- e-DNA

業務実績

河川・砂防事業

- 沙流川改修工事 環境調査 (補正翌債)
- 頓別川広域河川改修工事環境調査 (補正) (繰越)
- 網走川広域河川改修工事 (環境調査) (補正) (翌債)
- 羅臼川道単改修工事 (環境) 環境調査委託

- 令和04年度 室蘭建設管理部
- 令和04年度 稚内建設管理部
- 令和04年度 網走建設管理部
- 令和04年度 釧路建設管理部

ダム事業

- 厚幌ダム建設事業 環境調査 (猛禽類)
- 佐幌ダム再生事業環境調査

- 平成30年度 室蘭建設管理部
- 令和04年度 帯広建設管理部

道路事業

- 一般国道238号紋別市沼の上道路 現況調査業務
- 美唄富良野線特定交付金工事外 (美唄工区) 環境調査
- 根室中標津線 (地交) 工事 環境調査 委託

- 平成26年度 室蘭開発建設部
- 令和04年度 札幌建設管理部
- 令和04年度 小樽建設管理部

農業・水産・その他

- 平成27年度水辺の活動適性度調査業務
- 廃止鉱山の生態系リスク評価に関する調査業務 (3件)
- 明渠排水路の魚類調査・魚道設計 (丸万川地区)
- 水産資源 (ナマコ) の養殖技術開発の補助業務

- 平成27年度 札幌市
- 平成30年度 産業総合技術研究所
- 令和02年度 オホーツク総合振興局
- 令和02年度 国研 寒地土木研究所

「自然との共生の
実現をめざして」

